

一般社団法人日本新聞販売協会近畿 2026年 各理事の年頭挨拶

真辺讓司理事長（毎日・西明石）

課題に向き合いながら前進



新年あけましておめでとうございます。

会員の皆さまにおかれましては、健やかに新春を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

また、平素より日販協近畿の諸活動に対し、格別のご理解とご協力を賜っておりますことに、厚く御礼申し上げます。

さて、新聞販売業界を取り巻く環境は、引き続き厳しい状況にあります。

購読者数の減少という構造的課題に加え、最低賃金の上昇や人手不足、エネルギー価格や諸経費の高止まりなど、近畿各地の販売現場においても経営への影響が顕在化しています。

日々の配達や店舗運営に直結する課題として、現場から切実な声が寄せられているのが実情です。

おける重要な情報インフラであり、戸別配達は活字文化を支える基盤でもあります。

地域に根差した販売店があつてこそ成り立つ仕組みであり、この体制を将来にわたリ維持していくためには、現場の実情を踏まえた現実的な対応と、業界全体での課題共有が不可欠です。

本会では、販売正常化への取り組みをはじめ、制度や慣行の在り方について検討を重ねるとともに、近畿の販売現場から寄せられる声を丁寧集約し、関係機関への働きかけを継続してまいります。

また、政治・行政との連携を通じて、新聞販売業が地域社会で果たす公共的役割について、理解を深める努力を続けていく所存です。

本年も、厳しい環境が続くことが予想されますが、会員の皆さまと力を合わせ、足元の課題一つひとつに向き合いながら、前進してまいりたいと存じます。

結びに、皆さまのご健勝と各販売所の安定・発展を心より祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

小西康弘副理事長（読売・柏原）

労務の取り組みは優先事項



謹んで新年のお喜びを申し上げます。昨年中は、日販協の活動に対し、ご理解、ご協力を賜り心より御礼申し上げます。

私たち新聞販売店は、雪深い季節、猛暑の中であっても読者の元へ新聞をお届けする努力を重ねてまいりました。

しかし、日本における構造的な人手不足は深刻となり、産業間の人材の獲得競争は熾烈さを増し、またインフレ基調に入っていけば、最低賃金は政府目標の示す通り数年間は大幅な引き上げで推移してきます。

こうした労務環境の中、私たちの多くは自らの店舗で直接労働に従事しています。人手不足は、私たちでカバーするしかない状態です。人手不足は、新聞販売店にとっては労務上、経営上の死活的な課題となります。

こうした事情を踏まえます

と労務課題に対する取り組みは必然的に優先事項となります。

新聞休刊日の増設も最低賃金への対応も「労務問題」でありますが、その根幹は「経営問題」になります。私たちは誰もが「世界に冠たる戸別配達制度」を守るために、昨年に引き続き粘り強く取り組み参ります。

そして熱中症対策が罰則付きで義務化されました。「真夏の配達死」でも不思議ではない時代になった中での義務化です。義務化ですから販売店としては対応していきますが、従業員の命を守るために今年も熱中症予防策、雇用主の安全配慮義務を生命に関わる重要事項として、その周知に取り組んでいきます。

皆様におかれましては労務のひっ迫に加え、最低賃金のアップなど販売店経営に大変苦慮されていることと思いますが、皆様と一緒にさらなる取り組みを進めてまいりたいと存じますので、本年もどうぞよろしくご協力をお願いします。

こうした事情を踏まえます

辻昭彦専務理事・総務統括（京都・羽拍子）

会員の助力となる事業の実践を



新年あけましておめでとうございます。本年が皆様にとってこれまでのご苦労が少

しでも軽減となるようお祈りを申し上げます。

丙午（ひのえうま）の今年、「馬」は躍動・成功を象徴し前向きで活発な一年になると言われ、特に60年に一度巡ってくる「丙午」は情熱や変化をも象徴することです。

ぜひ、皆さんと日販協で日頃の努力が報われる年にしたい

ものですね。

さて、アフターコロナに取り組んで4年目ですが、コロナ感染拡大前に比べて多くの仲間が廃業なされ、日販協の会員数も急激に減少しました。自ずと会費収入も減り、支出過多に陥っており、役員の成り手不足から役員に名を連ねても役目が果たせないことが散見されています。

この4年間で執行部と理事の皆さんで打開策を講じてきましたが未だ道半ばの状態です。今年はずっと踏み込んだ施策を講じていく事を計画し

ています。

対応策を議論する中で「日販協の存在価値は」という意見も少なからず話題に上りました。仰る通り、かつてのような裕福な環境が再来することはないので、集約と集中特に新聞販売店を営む会員にとって効果的に助力となるような事業を実践できたら良いなと思っていますので、ご理解とご協力をお願い致します。

厳しい環境下で販売所業務に取り組んでいらっしゃる状況ですので、何より健康にはご留意くださいませ。

岩田達承専務理事（朝日・千里山）



新しい年を迎えました。お世話になっております。

日販協近畿は多岐にわたる活動を行っております。オンラインでクリーンな活動を心掛け、販売店の皆様のお役に立つ事が最大の目的です。

保田満範専務理事（産経・大正南）

法規公正担当といたしましては、本年も引き続き『販売の正常化』に取り組んでまいります。

新聞販売を取り巻く環境は、無購読世帯の増加、購読者の高齢化等々と厳しい状況にあります。そのような状況を踏まえて昨年「新聞販売に関する苦情ゼロを目指す」という事で、店



内掲示用のポスターを作成して、会員各店にお届けいたしました。テーマに『地域の皆さんに喜ばれる新聞販売をしましょう。』を掲げております。これを実践することで、販売の正常化と共に販売の促進につながればと考えております。全販売店が店内掲示していたく事を期待しております。

本年も会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

畑善章専務理事（神戸・春日）



新年あけましておめでとうございます。

業界を取り巻く環境は厳しさを増しておりますが、現状をしっかりと受けとめ、変化にも前向きに、そして柔軟に対応しながら、新聞販売の価値と役割を次代へつなぐべく、皆様とともに昇華させてまいりましょう！